

# 資料 大分県下刊行文芸誌一覽

昭和二十年～昭和四十四年（創刊号不明分は発行年の  
明らかな分を掲載した）

昭和二十年（一九四五）

総合誌 『碧蹄』2号（掘賢次、堀雅彦 大分市）、『言語

革命』（都甲一生 八坂村）

詩誌 『自由文化』（是永勉 大分市）

二十一年（一九四六）

総合誌 『二豊文学』（神敏夫 大分市）、『あこがれ』

（日田市）、『豊州文学』（豊州文学社 大分市、

『二豊文学』、『あこがれ』を合併、改題、『暖流』

（臼杵文学社 臼杵町）、『九州浪漫社 大分市）、

『ACADEMIA』（えるびす・そさえて）、

『大分評論』（山田政治 大分市）、『二豊随筆』

（二豊随筆社 大分市）

詩誌 『風見鶏』（三島潤 大分市）、『砕氷船』（日田文

化協会詩人サークル 日田市）

歌誌 『新道』（新道社 中津市）、『にぎたま』（全九州

アララギ会 日田市）、『日陽歌人』（下郡峯生

臼杵町）、『新樹』（橋本文彦 大分市）

俳誌 『紫苑』（紫苑社 別府市）、『虹波』（虹波会

増刊号は神崎村、以後大分市）、『大由布』（大由

布社 別府市）、『飛蝗』（飛蝗社 阿南村）

俳誌 『俚謡耕人』（耕人社 別府市）、『花火』（川柳花

火大分吟社 臼杵町）

二十二年（一九四七）

総合誌 『風焰』（二豊文学会 玖珠町）、『エリート』

（エリート社 大分市）、『大分春秋』（大分春秋

社 別府市）

歌誌 『現象』（現象短歌会 別府市 6号から『朱竹

と改題）、『南風』（清時荒二 日田市）、『水芥子』

（山本伊敏 別府市）、『二豊歌人』（明石勝己

国東町）、『青蛾』（仲貞由基 宇佐町）

俚 謡 『ゆりかご』（土屋珀夢〈北彦〉 杵築町）

二十三年（一九四八）

総合誌 『大分評論』（復刊 大分市）、『青窓』（第一高女

大分市）

詩誌 『詩郷』（大分県詩人倶楽部 大分市）、『心象』

（心象社 大分市）

歌誌 『八雲』（八雲短歌会 別府市）、『歌帖』（歌帖社

伊美村）

二十四年（一九四九）

詩誌 『文芸牧場』（松山多可子 糸口村）、『山郷』（津

房村)、『いづみ』(庄内村)、『青磁』(津久見町)、  
『若草』(野津原村)、『誌郷』を『ETIOIL・  
DE・MER』改題

俳誌 『飛蝗』(4月号から『菜穀火』と改題)

川柳誌 『窓』(大分番傘川柳会 大分市)、『川柳文化』

(別府番傘川柳会 別府市)

二十五年(一九五〇)

歌誌 『白魚』(白魚歌会)

職場サークル誌 『エスプリ』(電産県支部 大分市)

二十六年(一九五一)

総合誌 『文芸風土』(大分県教育庁社会教育課 大分市)

詩誌 『GUERNICA』(諫山昌信・江川英親・平

沼忠吉 日田市)、『断層』(断層発行所 由布川

村)

二十七年(一九五二)

総合誌 『風土』(風土発行所 大分市)、『高校文芸』(大

分高文連 大分市)

俳誌 『石』(石発行所 大分市)

二十八年(一九五三)

総合誌 『枸橘』(春爛漫号(大分県立病院)、『大分にこよ

ん』(大分市)、『垣塙』(九卷一号(大分大学学芸

学部文芸部)

詩誌 『銀河系』(銀河系発行所 大分市)のち『揭示』

と改題

川柳誌 『川柳おいた』(木本夜潮 大分市)

二十九(一九五四)

総合誌 『東九州文学』(東九州文学同人会 大分市)、

『二豊雑筆』(豊州雑筆社 別府市)

三十年(一九五五)

総合誌 『ルボア』三号(別府大学文芸部 別府市)

職場サークル誌 『文芸』(全医労別府市部文芸部編発行

別府市)

詩誌 『詩壇現象』(雨辺都良夫)、『結んだ手』3号

(詩サークル木曜会 大分市)

三十二年(一九五七)

歌誌 『竹田短歌』(竹田短歌会 竹田市)

総合誌 『気団』(気団発行所 宇佐町)、『芽』第十五号

(グループ窓 竹田市)

三十三年(一九五八)

詩誌 『生活』(生活詩友会 国東)

歌誌 『月集』(村上富六編 豊後高田市)、『文芸大分』

総合誌 (大分県民会議編発行 大分市)

俳誌 『日本俚謡』(日本俚謡作家連盟 杵築)

三十五年(一九六〇)

俳誌 『干潟』(足立雅泉 宇佐町)

職場サークル誌 『いづみ』二号(トキハ従業員組合 大

分市)

俳誌 『箭山』(荒川紫洋 中津市)

三十七年(一九六二)

詩・歌誌 『牙』(長尾素明 石田比呂志 中津市)、『対話』(対話の会 大分市)

三十八年(一九六三)

歌誌 『大分歩道』(歩道短歌会大分支部 大分市)

三十九年(一九六四)

総合誌 『臼杵文学』(のち『東九州文学』と解題、臼杵文学同人会 臼杵市)、『仙人掌』(仙人掌の会 大分市)

歌誌 『ふるさと』(松本政博・奥田昭 中津市)、『湾』(長尾素明 中津市)

児童文学誌 『メルヘン』七号(大分県児童文学研究会 別府市)

職場サークル誌 『流域』(県庁文学サークル 大分市)

四十年(一九六五)

総合誌 『文芸風土』(文芸風土事務所 別府市)、『蟹』(佐藤俊計 大分市)、『新大衆文学』(九州大衆文学会 大分市)

職場サークル誌 『やまなみ』(九電大分支社 大分市)

詩誌 『門』(藤井国武 国東町)

川柳誌 『川柳高崎山』(大分県番傘連合会編)

四十一年(一九六六)

総合誌・『板山文芸』(板山文芸同人会 別府市)、『ノ

歌誌 ト』(日本民主主義同盟別大支部 大分市)のち『大分文学』と改題)、『邪馬台』(耶馬台発行所 中津市)、『黒点』(大分大学経済学部文芸部)、『風』(田口游 竹田市)

四十二年(一九六七)

総合誌 『文礫』(別府文学サークル 別府市)、『ひろば』(大分県児童文学研究会編)、『稜』(稜ぐるうぶ 別府市)

四十三年(一九六八)

総合誌 『軌道』(軌道グループ 別府市)

詩・川柳誌 『生理』(生理社 別府大学)、『川柳ふない』(大分番傘川柳会)

四十四年(一九六九)

総合誌 『水塊』(同人水塊 大分市)、『別府文学』(別府文学会 別府市)、『日田文学』(久恒隆弘 日田市)

以上は『大分県史』現代編Ⅱ「第一章 戦後の文学と文学運動(古庄執筆)」に収めたものである。実物を確認できないままのものなどあるが、今後漸次正しくしていきたい。

四十五年(一九七〇)

総合誌 『水塊』(同人水塊 大分市)、『別府文学』(別府文学会 別府市)、『日田文学』(久恒隆弘 日田市)

四十六年(一九七一)

総合誌 『水塊』(同人水塊 大分市)、『別府文学』(別府文学会 別府市)、『日田文学』(久恒隆弘 日田市)

四十七年(一九七二)

総合誌 『水塊』(同人水塊 大分市)、『別府文学』(別府文学会 別府市)、『日田文学』(久恒隆弘 日田市)

四十八年(一九七三)

総合誌 『水塊』(同人水塊 大分市)、『別府文学』(別府文学会 別府市)、『日田文学』(久恒隆弘 日田市)

職場サークル誌 『やまなみ』(九電大分支社 大分市)

詩誌 『門』(藤井国武 国東町)

川柳誌 『川柳高崎山』(大分県番傘連合会編)

四十一年(一九六六)

総合誌 『水塊』(同人水塊 大分市)、『別府文学』(別府文学会 別府市)、『日田文学』(久恒隆弘 日田市)

職場サークル誌 『やまなみ』(九電大分支社 大分市)

詩誌 『門』(藤井国武 国東町)













